

New MINIMAG™

Magnetic Stripeリーダー

USB/HIDインターフェース

クイックスタートマニュアル

ID TECH
10721 Walker Street
Cypress, California 90630
(714) 761-6368
www.idtechproducts.com

80066507-001

Rev. C R04/06

#417

AGENCY APPROVED

Class Aコンピュータ機器向けFCCルール パート15 サブパートB仕様

保証制限

ID TECHは、直接購入者に対し、送り状記載日から24ヶ月間、本製品が正常に稼働し、通常使用において、装置内部および外装ともに瑕疵が無いことを保証します。本保証に関する弊社の義務は、保証期間内に送料、保険料前払いで出荷元工場に戻され、弊社の規準による調査により瑕疵が明らかになった製品の交換、修理、または返済のいずれかに限定されます。いかなる製品や装置の取外しや再設置に要する費用は、本保証には含まれません。いかなる個人および法人も、製品販売時に、上記以上の保証責任を付加する権限を有しません。瑕疵が保証範囲内であっても、装置製品の瑕疵に依り購入者または第三者に生じた特別な損害に関して、その軽重を問わず責任を追うものではありません。購入者の受けられる瑕疵製品への保証は、販売条件にかかわらず、弊社による交換または修理のみです。保証期間中の保証サービスに関しては、Return Material Authorization (RMA)番号と、製品返品方法をお問い合わせください。

本保証は、他のいかなる商業上または特定目的の責任に代わって適用されます。本規定に記載以外のいかなる明示的または黙示的保証はいたしません。本製品は現状有姿で販売されます。弊社は、いかなる場合も、製品の正規使用または誤使用、契約条件に準じない販売、組立てにより生じた、直接、近接、予見可能、重大または特別な損害にかかわる費用に関して、明示的または黙示的な、注意義務違反の責を負うものではありません。

ID TECHは、International Technologies & Systems Corporationの登録商標です。MiniMagおよびValue through Innovationは、Technologies & Systems Corporationの商標です。

Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。USB (Uni-versal Serial Bus)の仕様は、Compaq Computer Corporation, Intel Corporation, Microsoft Corporation, NEC CorporationのCopyright© 1998です。

仕様		1
必要電力		ACアダプタより給電、 5VDC/350mA
動作電流:		デコードされた磁気カードで最大40 mA
動作時温度		(3トラック) USB/HIDインターフェース
:		0° C ~ 55° C
保管時温度		-30° C ~ 70° C
相対湿度		最高95% (結露無し)
磁気ヘッド寿命		最低1,000,000パス
レーンおよびカバー寿命		最低1,000,000パス
磁気ストライプ記録方式		
		2 周波数可干渉性フェーズ (F2F)互換
		ISO 7811, ANSI, AAMVAおよびCalifornia
		DMV
最大トラック数		3トラック
スワイプ速度		7.62cm ~152cm/秒 2方向
カードの厚み		0.0381cm ~ 0.114cm
スロット幅		0.127cm
サイズ		奥行90mm X 幅
		35mm X 高さ28mm
重さ		130g
ケーブル長		182cmストレートケーブル

機能説明

MiniMag™ magnetic stripe リーダは、1、2 または 3 トラックの磁気ストライプ情報を読み取り可能です。さらに、データ編集機能を備えています。

MiniMag™ リーダは、ホストコンピュータの RS232 通信ポートに接続されます。ケーブルには、ホストコンピュータ接続用の DB9/RS232 端子がありリーダ側は直付けされています。MiniMag は、ホスト側のソフトウェアに対応して設定が可能です。詳細は設定ユーティリティの章を参照してください。リーダは、標準的な RS232 デバイスとして動作します。

装置は設定ユーティリティで自由にプログラム可能です。データはプリアンブル / ポストアンブルまたは終端キャラクタでフォーマットし、ホストの要求するフォーマットに合致させることができます。

電力はホストから供給されません。別途ACアダプタが必要になります。

ホスト接続とドライバ

MiniMag リーダは、RS232 ポート経由でホストに接続します。ケーブルは DB-9 のコネクタを用意しています。

磁気ストライプデータは、Microsoft RS232 ドライバによる標準の Windows API コールとして、ホストに転送され利用されます。ソフトウェアアプリケーションは、標準の Microsoft ドライバインターフェースを使用して簡単に開発できます。

ホストコンピュータのアプリケーションソフトウェアが、磁気ストライプのデータを特定の順番やフォーマットで要求する場合は、データブロックを並べ替えたり、終端キャラクタを追加したり、デコードしたカードデータに特別なプリアンブル / ポストアンブルのキャラクタ文字列を追加したりすることによってリーダのアウトプットのデータストリームを設定することができます。

OPERATION

MiniMag magnetic stripeリーダの操作は簡単です。以下の簡単な手順に従ってください。

- 1.1. リーダが正しく接続され電源が十分に供給されていることを確認します。
- 1.2. カードを読取るには、カードの磁気ストライプをLEDヘッドと反対側の磁気ヘッドに向け、スロットのいずれかの方向にスライドします。
- 1.3. リーダでカードをスワイプしている間は、LEDが消灯します。
- 1.4. 磁気ストライプ全体が読み取られると、正常読取りの場合はLEDインジケータが緑色に点灯します。正常読取りができなかった場合、LEDインジケータは赤色になります。
- 1.5. 正常読取りの場合、トラックごとにピーブ音でお知らせします。全3トラックが正常に読取られた場合、ピーブ音が3回鳴ります。

ユーティリティの使用

リーダは、工場出荷時にデフォルトの設定がプログラムされています。デフォルトの設定は制約の少ない設定になっており、磁気ストライプカードの標準的なエンコードのデータのすべてを読取ることができます。詳細は、デフォルト設定表を参照してください。

設定ソフトウェアは、ID TECH のウェブサイトからダウンロードできます。ウェブサイトから設定ユーティリティの zip ファイルを、ローカルのハードディスクにダウンロードしてください。自己解凍ファイルをダブルクリックし、画面に表示される手順に従って zip ファイルを解凍し、SETUP.EXE アプリケーションを実行します。

インストールウィザードにより、C: ドライブに2つの新規フォルダが作成されます。新規フォルダ IDTECH とそのサブフォルダの MagSwipe Configuration Utility は Program Files フォルダに作成されます。インストール過程の最後に、MagSwipe Configuration Utility メニューがスタートメニューのプログラムフォルダに追加されます。リーダをホストコンピュータに接続し、電源がオンになっていることを確認します。MagSwipe Configuration Utility メニューを選択し、IDT アイコンをクリックします。

ユーティリティが起動して、左側にメニューが並んだホームページが表示されます。必要なメニュー項目をクリックします。ユーティリティの使用に関する詳細は、HELP メニューをクリックしてください。

MAGSWIPE™設定ユーティリティ

磁気ストライプ上に磁気的にエンコードされたデータは、磁気カードリーダでデコード (読取り) できます。ストライプデータは、ISO 規格により定義された固定フォーマットを持っています。ISO 固定フォーマットはカード読取り用途によっては不便な場合もあります。そういった場合、カードリーダでストライプデータをデコードしてから、データを使いやすいフォーマットと内容に調整します。リーダによりフォーマットされたデータは、高性能な通信インターフェースにより転送されます。

MiniMag は高性能な磁気ストライプリーダで、拡張されたフォーマット機能を提供します。さらに、フォーマットしたデータにキャラクタを追加できます。フォーマット機能を活用して頂くために、使いやすい MagSwipe 設定ユーティリティソフトウェアを用意しています。新しいファイル保存機能により、設定を保存し再利用できるので、リーダごとに設定を最初からやり直す必要がなくなりました。

ユーティリティは、すべてのリーダインターフェースをサポートしています。サポートする OS は、Windows 98, Windows 2000, and Windows XP です。

初期設定表

MiniMagリーダは出荷時に、下記でフォルト設定がプログラム済みです。

磁気トラック基本データフォーマット

Track 1: <SS1><T₁データ><ES><CR>*

Track 2: <SS2><T₂データ><ES><CR>*

Track 3: <SS3><T₃データ><ES><CR>*

SS1 (トラック1監視開始) = %

SS2 (トラック2監視開始) = ;

SS3 (トラック3監視開始) = ; ISO用, ! CDL用, % AAMVA用

ES (すべてのトラックの監視終了) = ?

CR=Carriage Return

Baud Rate:	9600 bps
Data bits:	8
Parity:	None
Handshaking:	x-On/x-Off
Stop Bits(s):	1
x-On:	DC1(Hex 11)
x-Off:	DC3(Hex 13)

監視開始と終了: エンコードフォーマットのキャラクタで、最初のデータキャラクタ (開始) の前に付くキャラクタと末尾のデータキャラクタ (終了) の後に付くキャラクタであり、それぞれデータの開始と終了を示す

トラックセパレータ: データトラックを分割するための専用キャラクタ

ターミネータ: 最終データトラックの末尾に付く専用キャラクタで、カード読取りを分割する

LRC: 監視終了後のチェックキャラクタ

CDL: Old California Drivers Licenseフォーマット

CR: 改行.

*注記: トラック1と2、2と3の間の<CR> (上記) キャラクタはトラック分割位置のデフォルトキャラクタです。

トラック3の<CR>キャラクタは、終了位置のデフォルトキャラクタです。

プリアンブル (存在する場合) - T1の前、ポストアンブル (存在する場合) - 終了位置の後